



オンライン授業



様々な試行錯誤の中、一斉のオンライン授業が9月13日より始まりました。発信側である先生たちは、オンライン用の課題を準備したり、複数クラスを合同である場合のセッティングを研究したりと大忙しでした。一方、受信側である生徒の皆さんは、本当につながるのかを心配したり、家で一人だけで受けなければならないのを不安がったりしていた人もいたと聞いています。以前にもお話ししましたが、不自由なことがある反面、ICTを用いた教育環境が急速に整備されたことで、今の子どもたちが、近未来の社会に適応するためのスキルが、少しは高まったのではないかと思います。

ところで、この一週間あまりオンライン授業の様子を見聞きしたことで、幾つかの「オンライン授業あるある」が判明(?)しましたので、以下に掲載します。

【先生(発信側)あるある・・・】

- ・知らず知らずに画面から外れてしまう。
- ・しゃべりが多くていつもよりのどが渇く。
- ・タブレットの画面が固まってあせる。
- ・ミュート解除する(音を出す)のを忘れる。
- ・生徒の入退出を確認するのが一苦勞。

【生徒(受信側)あるある・・・】

- ・画面をずっと見ていて目が疲れる。
- ・部屋に自分一人なのにマスクをしている。
- ・音声があつたまま切れることがあって困る。
- ・授業と関係ないことをしてしまう。
- ・上はバッチリ、下パジャマ。
- ・いつもより長く寝てしまう。(遅く起きる)



先生総出で全クラス一斉に出欠の確認



オンラインでは初めての体育の授業



あれこれと試行錯誤を繰り返す

「人権の花運動」の委託を受けている中部中では、いじめ防止の一環として行う「ピンクシャツ運動」の趣旨を踏まえて、ピンク色の花を育てています。このたび、日々草(ニチニチソウ)が咲くプランターを、校区内4箇所のコミュニティセンター等にお届けすることになりました。

お届けします 人権の花



中体連新人大会は中止に！

10月の土日を中心に開催される予定であった、『鈴鹿地区中体連新人体育大会』は、コロナ禍の中にあって、その実施の有無が注目されていましたが、このたび「中止」との判断になりました。3年生が抜けたあとの、力試しにもなる意義の大きい大会であるため、大変残念ではありますが、生徒の安心安全面を考慮したうえでの、やむを得ない措置ということです。

なお、今後、中体連主催ではない、〇〇協会や△△連盟等が主体となる大会は、地区レベル、県レベル、全国レベルの如何を問わず、それぞれの主催団体が独自に判断し、感染症対策を十分に講じて開催されることはあると承知しています。ただし、当該大会に出場する場合は、選手等の保護者の方の理解と同意を得たうえでのものであることを十分にご了承ください。

「不織布マスク」を推奨します